

グリーントピックス

北海道立林業試験場

No.5

トドマツの球果害虫



トドマツタネバエはトドマツ球果を加害する害虫の大半を占めている大害虫です。幼虫は軸に沿って種子を食べながら進み、孔道にたまったヤニは1カ所から外へ出します。この排出されたヤニの塊りで、タネバエの被害であることがすぐ見分けられます。

また、大量の糞塊をつけた球果もよくみられますが、これはマツトビマダラシンムシその他の蛾類による被害です。

トドマツタネバエによる被害球果ヤニの塊りをつけているのが特徴



蛾の幼虫による被害球果糞塊が特徴



トドマツタネバエの幼虫



トドマツタネバエの成虫(体長6mm)

海岸林の成長をさまたげる主な原因



天塩海岸のカシワ天然林の状況

カシワ林の前線では、夏に伸びた枝は、冬を越すとほとんどが枯死する。これを繰り返して、林はほんの少しずつ成長する。

天塩地方など道北の海岸にあるカシワやミズナラの天然林の前線では、夏に上に伸びた枝が、冬を越すと、ほとんど枯れてしまいます。このことから、樹木の生育を制限するのは、夏の環境ではなく、海から強い季節風が吹く冬の環境であることがわかります。そして、この海風には、大量の塩分が含まれていて、それが枝の葉痕から侵入して、葉痕の周辺→冬芽の基部→他の組織、と生きた細胞を次々に枯死させて枝全体に広がっていく様子が明らかになりました。

このことを基本として、海岸林の植栽成績を向上させるために、保護材料による枝の枯損防止方法、海風中の塩分を緩和する防風工の改良方法、土壌条件の改善方法、および塩害に強い樹種・系統の選抜・育成などについて、現在研究を進めています。



カシワの枝の塩害

枝に付着した塩分は、枝の葉痕から侵入し、内部の組織を枯死させる。潮変部分は枯死した組織である。

農用トラクタは
間伐木の集材に
活用できます。



農用トラクタは、農家にとって最も身近で扱い慣れた機械です。これを上手に利用すれば、間伐木の集材が容易におこなえ、しかも功程が相当上がることがわかりました。どのような林で、どのような方法で農用トラクタを活用するかを紹介します。



傾斜が急な林では、農用トラクタは走行できません。傾斜15度までが安全走行のできる林です。木を切り倒し、枝を払った状態（全幹材）で集材する場合は簡易なウィンチを装着します(A)。森林作業に不慣れな方には、材を一定の長さの丸太にした状態（短幹材）でフロントローダを利用して集材する方法を勧めます(B)。材の取扱いが容易なのと、残った立木に傷を付けることが少ないからです。胸高直径17~18cm

の林で間伐をおこない、400mの距離を集材する場合には、どちらの方法でも1日当たり15~20 m^3 (100~133本)の材を集材することができます。実際に集材を試みられたい方は、お近くの林業指導事務所、支庁林務課または林業試験場へお問い合わせください。

「極東の樹木」 美唄に芽吹く

1989年にロシア共和国サハリン州、ハバロフスク地方で収集した20数種類の種子から、苗木が順調に育っています。

今後、北海道での活用をめざして、各種の試験を進める予定です。



——— 明日の森林・林業を支える人材の育成 ———

「森林総合技術セミナー」

■7月までに実施した講座

林業技術基礎講座，林業技術公開講座，林業技術専修講座および森林教養講座の一部

■8月以降に実施する講座

講 座 名	期 間	場 所
林業技術基礎講座* (B)	11月19～22日	林業試験場 本 場
林業技術実践講座*	8月26～30日	林業試験場 本 場
林業技術専修講座* (林業機械)	8月 5～ 9日	林業試験場 本 場
林業技術専修講座* (緑化技術)	10月 1～ 4日	林業試験場 道東支場
森 林 教 養 講 座*	通 年	本・支場または希望する小中学校
林業技術情報講座 (林業相談)	通 年	

◎申込み方法

*印の講座については、あらかじめ申込みが必要です。受講を希望される方は、お近くの林業指導事務所，支庁林務課または林業試験場にご相談ください。

お問い合わせ先

林業試験場 本 場 TEL 01266-3-4164 FAX 01266-3-4166
 道南支場 TEL 0138-47-1024 FAX 0138-47-1024
 道東支場 TEL 01566-4-5434 FAX 01566-4-5434
 道北支場 TEL 01656-7-2164 FAX 01656-7-2164

発行年月 平成3年7月
 発 行 北海道立林業試験場
 〒079-01 美唄市光珠内町東山